

一般質問

金井田
議員

○県道、市道の管理について

質 近年の温暖化により、春先から夏場の猛暑の中での作業を余儀なくされ、作業の遅延が現実として起こっています。作業にあたる住民の高齢化や生活スタイルの変化により、自分で除草する体力や時間がないという声も多く聞かれます。

県道の自治会委託でも言えるが、道路の除草の大部分は各地域に担っていただいています。温暖化による作業への影響、高齢化、人手不足など、これからの対応・対策について伺います。

市長 県道の除草については、県とともに自治会の皆さまにご協力をお願いしていくべきだと考えています。市道の除草については、作業を担う皆さまの高齢化などで継続が難しいなど、地区要望においても度々取り上げられており、市内全地域の共通の課題であると考えています。

今後は、現在市が進めている、小学校区単位の協働によるまちづくりにおいて、地区の課題を対象地域全体で共有し、補完し合う取組活動を行えないか、検討を続けていきたいと考えています。

○西九州自動車道観光案内板について

質 令和7年度に、松浦インターから平戸インター間が供用開始予定で、西九州自動車道の延伸については大変喜ばしいことであり、早期の全線開通も期待される一方、松浦市が、単なる通過地点にならないような対策が必須と考えます。現在、山代久原インターから松浦インター間には、何の案内板も設置されていません。令和7年度、平戸インター開通に向けて、どう対策されるか伺います。

市長 通過地点にならないために、旅行者の方々が松浦を目的地として選んでいただける仕掛けを、実施しているところです。

松浦を目的地とすることによって、西九州自動車道が延伸しても、松浦に降りていただける仕組みづくりが必要だと思っていますし、現状のところ、西九州自動車道沿線には、サービスエリアがなく、トイレもありませんので、海のふろさと館のトイレを多くの方々に活用していただいて、松浦に降りていただく、といった取り組みを引き続き積極的に行っていきたいと思っています。

一般質問

水
志
議員

○木育推進の現状と課題について

質 友田市政の誕生を機に「ウッドスタート宣言」をされ開始された木育推進事業ですがこれまでに木育関連に充てられた支出額の合計と、そのうち市内事業者に支出された金額と割合を伺います。

子育て・こども課長 令和2年度以降の総額として、予算額が2252万7千円、支出額が2211万8千円となっています。

また、市内事業者と市外事業者に支出された額および割合について、市内事業者に339万3千円・約15%、市外事業者に1872万5千円・約85%となっています。

質 予算が厳しい状況にある市政運営の中で、市内への還元率を見たときに、現状のまま税金を使って取り組むべき政策だとお考えか伺います。

市長 森林には、国土の保全、水源の維持、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、防災機能など重要な役割があり、個々の自治体においても何らかの取り組みが必要であると考えています。火力発電所がある自治体だからこそ、少なくともその排出される二酸化炭素を吸収する森を大

切にしよう、そういう思いを子どもたちに育んでほしいという取り組みがあります。木のおもちゃの製作を含め、市内事業者が携わる割合を増やしていけるよう、関係団体と協力しながら取り組みたいと考えています。

○インフルエンザ予防接種の現状と今後の取り組みについて

質 第1子からの、保育料完全無償化に取り組んでいたきたいのですが、現在取り組まれている独自の支援（同時在園児がいる場合、第2子以降無償化）に、どの程度の予算の上乗せで完全無償化ができるのか伺います。

市長 保育料の無償化については、国の責任において保育料が完全無償化されるべきであるとして市長会を通じて国に要望しているところです。

一方で、自治体独自の子育て支援策を打ち出すことはとても重要なことであると考えています。令和7年度当初予算の編成において財源、取組内容、効果等について検討していきたいと考えています。

子育て・こども課長 令和5年度実績を基に試算すると、これまでの市独自の負担軽減策として、約4千万円を要しており、保育料を完全無償化した場合には、これに約2200万円ほどの上乗せが必要となります。